

就労継続支援A型
就労移行支援
就労継続支援B型
精神通所授産施設
武蔵村山市障害者就労支援センターとらい
瑞穂町福祉作業所
あかつき作業所
セルフあかつき
あかつき授産所
スペース・まどか
センターとらい
さく

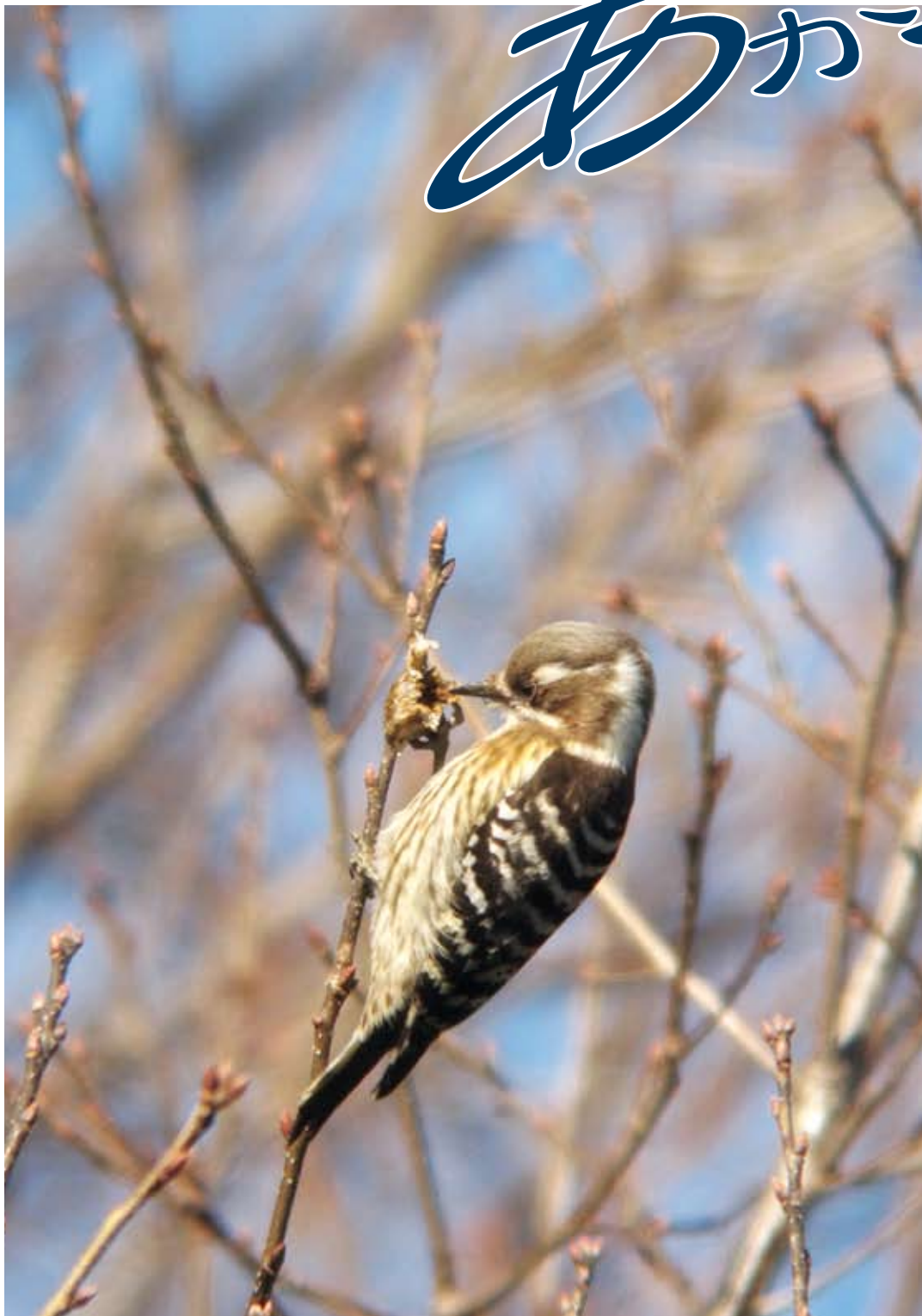
<http://akatuki.or.jp>

Email:soumu@akatuki.or.jp

あかつき

スポット

- ・新年あいさつ・抱負
- ・研修報告
- ・さくら近況報告
- ・所内旅行報告
- ・新人紹介



phot by M.N (コゲラ)

第60号 二〇一一年一月一日発行
発行／編集 社会福祉法人あかつきコロニー
〒二〇八〇〇三三 東京都武蔵村山市伊奈平一六四一
☎〇四二一五六〇一七八四〇

新年あいさつ



常務理事
高橋 毅

明けましておめでとうございます。

厳しい経済・雇用情勢が長く続いておりますが、私たち障害者の就労支援を担う者にとって今の日本経済では非常に厳しい状況に置かれているといえます。

主力の印刷事業は市場が年々狭まり、他の事業も現状維持なら御の字という具合で、収益の確保は非常に厳しく、利用者への賃金・工賃保障もままならない状況にあります。

また障害者の一般就労もこの不況では雇用されることも厳しく、その定着さえ危うい状況です。その様な状況でも高賃金・高工賃を支払っていくという当法人に受け継がれてきた指針は何とか維持されており、障害者雇用支援でも一定の雇用者数が維

あがっているところです。

しかし新法の総合福祉法では対象障害者の範囲を全ての障害者とし、利用者負担も応能負担になることや事業者への支払い方式は日額・月額併用方式が検討されているなど、障害者や福祉事業者にとって良い方向の内容となっており、是非とも早期の実現を期待します。

一方改革推進会議では障害者の雇用推進と同時に施設で働く障害者の労働者性についても検討されています。旧授産施設や就労継続支援B型はいわゆる作業を行う施設ですが、現状の法律では作業訓練を行う施設と位置付けられています。仕事なのか訓練なのか、この矛盾が長く作業を行う施設では付きまとうてきました。この矛盾に対して、施設で働く障害者も労働者であるという方向性が示されつつあります。労働者ということは労働法に沿った権利が得られるということ、位置付けが明確化されます。

ここで壁になるのが現状の福祉作業所で支払われている工賃です。今の全国の就労継続支援B型の平均工賃は1万4千円前

後で、各都道府県で定められて

いる最低賃金を大きく下回っているのが現実です。今の経済情勢と福祉作業所の形態ではこの差を埋めることは非常に困難であり、部分的な手直しでは不可能です。この問題を解決するために公的賃金保障の制度策定の検討もされているようですが、まだまだ未知数であり、どのような方向に進んでいくかは分かりません。ただあかつきコロナも就労支援を行っている事業所であり、この問題については今後大きく影響を受けていくこととなりますので、注視していきたいと思っています。

あかつきコロナも昨年3月に施設入所支援を廃止し通所型施設となつて10ヶ月が経過しようとしています。また昨年4月には新たに瑞穂町との指定管理契約を結び、就労継続支援B型「瑞穂町福祉作業所さくら」を開所したところです。

通所型施設への移行は法人経営や職員配置等組織が大きく変わることであり、昨年はその整備の年と捉えて法人運営を行ってきました。

今年もまだまだ通所型への整

新年の抱負



あかつき作業所
所長 永井 眞

多機能型への移行を予定しています。スペース・まどかは当法人では唯一の旧法施設であり、移行後の経営基盤の不安定さから新体系移行を見送ってきましたが、経過措置も残すところ一年となり、事業安定化補助も受けられるということもあり、先日理事会・評議員会で決定いたしました。

瑞穂町福祉作業所さくらも4月には二年目となります。昨年は利用者との信頼関係の構築に力を注いできましたが、二年目以降は就労継続支援B型である以上工賃のアップを図っていかなければなりません。工賃を上げていくためには新たな事業展開を図る必要があります。

今年も地域、関係機関、団体等皆様のお力をお借りして、目まぐるしく変わる環境の変化に対応してまいりたいと考えております。また役員、全所員の力を発揮していただいてこの一年を乗り切っていきたいと思ひます。あかつきコロナの理念「共に働く、共に生きる、共に創る」の精神で皆様頑張っていきたいと思います。

交代で検討中止のようなことにならなければいいですね。

さて、昨年は我々あかつきコロナにおいても激動の年でした。入所授産部門の廃止やB型単独施設の立ち上げ、瑞穂町指定管理施設受託、A型の雇用の場としての給食部の立ち上げ、建物の修繕事業等やらなければならぬことを一つずつクリアしながら乗り越えた一年でしたが、その中の一つである給食部の立ち上げは、あかつき作業所の新しい事業の一つとなりました。開設当初は多少バタバタした感はありませんが、現状では、A型雇用の新しい部所としてきちんと機能し、あかつきコロナの皆様においしい給食を提供できていると思います。また、B型の延長線上でのA型という考え方ではなく、ハローワークとの連携による雇用という形も新しい形として特筆されるものと思われます。また、今年度よりあかつき作業所はA型単独施



セルプあかつき

新年あけましておめでとうございます。

昨年は就職氷河期と言われ、不況を物語る混沌とした一年でしたが、今年こそ少しでも景気が上向きになってほしいものだと心から願ってなりません。

本年兎年は「跳ねる年」とも言われています。その兎にあやかって行動の年、成果の出る年、飛躍の年になるよう、元気に跳ねて良い年にしていきたいと思っています。

さてこの1月から「武蔵村山市障害者就労支援センターとらい」から、「セルプあかつき」の所長として異動することになりました。新しい仲間と共に新しい気持ちで頑張りたいと思っています。

これまで「障害者就労支援センターとらい」の発足時から約三年間、三障害全ての方の就労

支援をしてまいりました。特に職場開拓や職場定着の支援を中心に企業及び関係機関とのやりとりが多かったように思います。採用に至るまでの課題、採用後の定着支援での課題や継続の困難さも実感してまいりました。就労することに対する本人の意識が問われ、当然のように作業能力、ビジネスマナーやチーム行動、報告・連絡・相談等自己発信ができるかどうかとも問われてきます。

当セルフあかつきとしての今後の重要課題として、第一に訓練内容の検討と利用者の確実な作業能力のスキルアップ、第二に利用者在住市の障害者就労支援センターとの連携も充実させていく必要性も感じています。更に今後は、訓練の中でいろいろな経験ができるように、ハローワークの方や一般企業の方々にも頻会に参加していただく場を設けていきたいと考えています。

また私達就労支援員におきましても研修会や企業見学会等にもどんどん参加し、スキルアップや情報収集に勤め、現場に繁栄させていきたいと考えています。障害者雇用促進法が改正され、平成22年7月から対象事業主が拡大されたことに伴い、雇

用環境が大きく変化する可能性が出てきました。雇用のチャンスが広がっていくことを期待しつつ、利用者の方々がしっかりとスキルを身につけ、一人でも多くの方が就労できるよう、これ迄の経験を活かしていけたらと思います。



スペースまどか
所長 遠藤至子

新年あけましておめでとうございます。

昨年もういろいろありました。が、社会情勢も環境も年を重ねる毎に目まぐるしく変化している様に感じます。皆がそこに付いていくのに精一杯で、社会全体に余裕が失われつつあるように感じます。その余裕のなさが、昨今のうつや自殺の増加、とい

った社会現象として表れているのではないかと、思います。

変化や余裕のなさ、不透明な未来等々：今の情勢は精神障害の方々にとっては、ただでさえ抱えている生き難さのハードルを更に上げられてしまっているような状況です。

変化に対する弱さは、精神障害の方々への障害特性の一つですが、社会は変化をしていきます。福祉の制度も同様です。昨年末には、改正障害者自立支援法が制定され、それ以前から障害者総合福祉法（仮称）の制定に向けての話し合いは進められています。

さて、そのような中、スペースまどかに於きましては、自立支援法への体系移行猶予期間を1年残したところであり、障害者自立支援法下の事業所となります。現在も来年度4月からの体系移行に向けて着々と準備を進めているところです。当施設は、現行の精神障害者通所授産施設から、就労継続支援B型と就労移行支援の二つの機能を有した、多機能型事業所として新たなスタートを切ります。

施設運営面から見た時に、精神障害者施設は障害者自立支援法には馴染まない、との理由か

ら意向を見送ってきた経緯があります。この間、報酬単価の改正や加算について見直しがある

れ、東京都に於いては新たな都加算「障害者日中活動系サービス推進事業（仮称）」が提示され、その内容も一部、精神障害の特徴に配慮されたものとなりました。とは言うものの、正直に申し上げまして運営面に関しましては不安が払拭されたわけではありません。そこについては如何に利用者を増やしていくか、その為に、事業所に求められるものは何かを私達一人一人が常に考えていく必要があると考えています。そこから自ずと私達のとるべき姿勢、行動が見えてくるでしょう。

体系移行に向けては、利用者の皆様には何度となく、説明や、意向を聞き取りながら進めてまいりましたが、不安や心配もある事と思います。職員一同、皆さんの声に耳を傾け、利用者の皆様には、安心して利用して頂けるようにして行きたいと考えております。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご発展をお祈りして年頭の挨拶とさせて頂きます。



瑞穂町福祉作業所さくら
施設長 熊谷昌博

新年、明けましておめでとうございます。

「さくら」としては、初めての新年を迎えることになりました。昨年4月に開所以来、すべてが初めての連続で、とまどうことも多かったのですが、職員が一丸となることで乗り越えて来られたと思います。

新年にあたり思うことは、我々が、今まさに「さくら」の歴史を創っているということ、また、その上で、初年度末を含む本年こそが、最も重要な年であるということです。常にそのことを念頭に置き、職員全員のチームワークを基本にして、利用者支援に取り組んでまいりたいと考えています。

最後になりますが、本年も、皆様にとって幸多い年となるよう願っております。

研修報告

平成22年度

東社協 身体障害者福祉部会
調査研修委員会・研修会

作業部2課主任
五十嵐 清

11月22日、飯田橋セントラルプラザにて

「どうすれば、人が育つ職場作りができるのか」

く利用者本位サービス実現に向けて取り組むべきこと」

人材育成を目的とした研修会に参加させて頂きました。

午前中は久田則夫氏による講義がありました。まず、この研修に参加する心構えからお話が始まりました。ただ話を聞くだけではなく、次の行動を起こす、前に進む研修にして行く事。

人材育成に携わる人に求められる基本原則として

- ① どの時代に働いているのか、時代感覚を間違えない。
- ② 自分が働く職場を「時が止まった職場にしない」、「時が止まった職員がはびこる職場にしない」との決意を胸に抱く事で前向きな姿勢、自己成長につなげて行く。
- ③ 利用者本位サービス実現を

研修報告

「職員に求められる知識・技法のステップアップをめざして」

ー 全社協全国社会就労センター協議会課題別専門研修会に参加してー

生活支援員主任
小室 貴士

あかつきコロニーでは就労継続支援A型の事業所を行っています。全国でも同じA型事業所を行っていますので、他の事業所ではどのように行っているか、勉強するために参加してきました。

まず、総合福祉部会の動向とセルフ協の取り組みについて報告がありました。障害者制度改革等の動向について、障害者権利条約の締結に向けた国内法整備と障がい者制度改革推進本部の設置、障がい者制度改革推進会議、総合福祉部会を開催し議論をしていくという事でした。

次に障害者福祉施策の最近の動向については、障害者保健福祉について障害者自立支援法は廃止し、制度の谷間がなくサービスの利用者負担を応能とする障害者総合福祉法を制定することとされている。障がい者総合

福祉法（仮称）の検討のために、本年4月に障がい者制度改革推進会議の下に総合福祉部会を設置し、検討を開始したところであり、障害者の方々や事業者など現場の方々をはじめ、様々な関係者のご意見などを十分に聞きながら検討していくとの事でした。

また、障害者権利条約について報告がありました。その中で合理的配慮についてお話がありました。障害のある人の働きにくさ、暮らしにくさ。障害のある人が障害のない人と同じように社会の中で日常生活を送るのに必要な変更や調整を行い、特定の場面に必要な配慮という事が重要との事でした。

2日目ではA型事業を実施するために工夫課題についてと題されて、グループに分かれて話し合いを行いました。各グループの報告では良い面としては高い賃金がもらえる、雇用契約を結べる、労災の適応がされる、利用者の働く場が選択できる、事業所には雇用報奨金が入る場合もあると言う事でした。また逆に課題としては有給の問題、有給で休む場合には事業所に利用料が入らない事。65歳以上の

施設利用について、福祉では65歳以上は認めていないが、労働サイドでは許されている点。また雇用契約を結んでいるので、能力が下がってしまった時にB型施設に戻るのには難しい。A型事業所を安定させるために売上げを上げていかなければならず、利益や販売の販路を広げないといけないという事、それには職員のスキルのアップが必要との事。ある施設ではセルフ自販機の設置を全国一にしようとした。また最低賃金を確保するように理事長命令が出ているという施設もありました。企業と福祉で協力してお互いの特性を生かしていけばいいのではないかと、という意見もありました。今、雇用の場、質が問われています。施設で働くと言う事は利用ではなく、労働という事であり障害があっても労働者として働き、収入を得て当たり前に暮らせる社会が必要です。この研修を通して大変参考になりました。今後とも勉強していきたいと思

